

**青森県**  
**春季高校野球**

春季東北地区高校野球青森県大会第4日は14日、県内3球場で2回戦8試合が行われ、工大一、工大二、八戸北、ウルスラ、三沢、青森北、弘学聖愛、弘前東が3回戦に駒を進めた。

第5日の20日は、八戸長根、六戸メイプル、青森県営、弘前市はるか夢の4球場で3回戦8試合が行われる。  
(取材班)



【八学野西―工大二】5回八学野西無死満塁、田頭優輝が右前適時打を放ち、6―2とする。六戸メイプル

## 野西 逆転つかの間

八学野西 0000150000  
工大二 001114001X 86

(八) 樋口―芋田  
(工) 速心、高沢―松尾  
▽三塁打 中塚(八)▽二塁打 坂本(工)▽暴投 樋口(八) 速心(工)▽捕逸 芋田(八)

▽試合時間 2時間8分  
(球審)伊藤広、塁審)井上、松浦、松山

**打者一巡猛攻**  
**ミスで帳消し**

○シード校の八学野西は悔しい初戦敗退となった。五回に一挙5得点で逆転に成功したが、六回は相手に4点を取られて再逆転。太田隆監督は「詰めの

甘さが出た」と振り返った。五回の打者一巡の猛攻によって試合をひっくり返し、その勢いで臨んだ六回だったが、相手打線から5安打を浴びた。主戦の樋口禅は「途中で気持ち前面に出した投球で抑えられましたが、制球が乱れたところを打たれてしまった」。

「打線は泥くさく点を取ったが、一個のミスで相手の流れになって食い止められなかった」と工藤虎太郎主将は反省を口にした。夏へ向け、太田監督は「ミスを極力なくし、相手の隙を突く野球に任せていく」と気持ちを切り替えた。